

2

February 2021
VOL.136

心と心をビビビと結ぶコミュニケーションのお手伝いペーパー

ishin-denshin

Let's コミュニケート!
理想と現実

きおく画伯
どちらも素敵です

社長と行こう! こっそり食堂
常連決定

水野印刷工芸
社内報

ミデコの日々の取り組みを
知っていただくため、
社外にもお配りして
います。

みかわんこ▶



特集

蒲郡市観光協会さま
オフィシャルサイト
リニューアル!



特集

蒲郡市観光協会さま オフィシャルサイト リニューアル！

2021年1月5日、蒲郡市観光協会さまのオフィシャルサイトをリニューアルさせていただきました。ぜひご確認の上、蒲郡に遊びに来てくださいね。



ぜひご覧ください▶



テーマは「休日、がまごおり。」

日本全国、多くの方々に蒲郡へお越しいただきたい気持ちはもちろんですが、今回は特に、名古屋圏を中心としたお近くにお住まいのみなさまに、気軽に来られる蒲郡の魅力のアピールしたいと考えました。

テーマは「休日、がまごおり。」。蒲郡には、楽しいテーマパークやアクティビティはもちろん、海辺を中心とした癒しスポットや温泉、新鮮な魚が食べられる美味しいお店など、一人でのんびり過ごせる素敵な場所がたくさんあります。お休みの日に、ちょっと疲れた時に、思い切り羽を伸ばしたい時に、日常に寄り添う素朴な蒲郡の魅力伝えることで、休日に来る度に「蒲郡行こっかな。」と思っただけのような場所になることを目指しています。



▲ トップページには、素朴な蒲郡の魅力が伝わる動画を配置。「楽しい動画はこちら」をクリックすれば、さまざまな蒲郡の動画コンテンツが見られる動画集ページにリンクします。



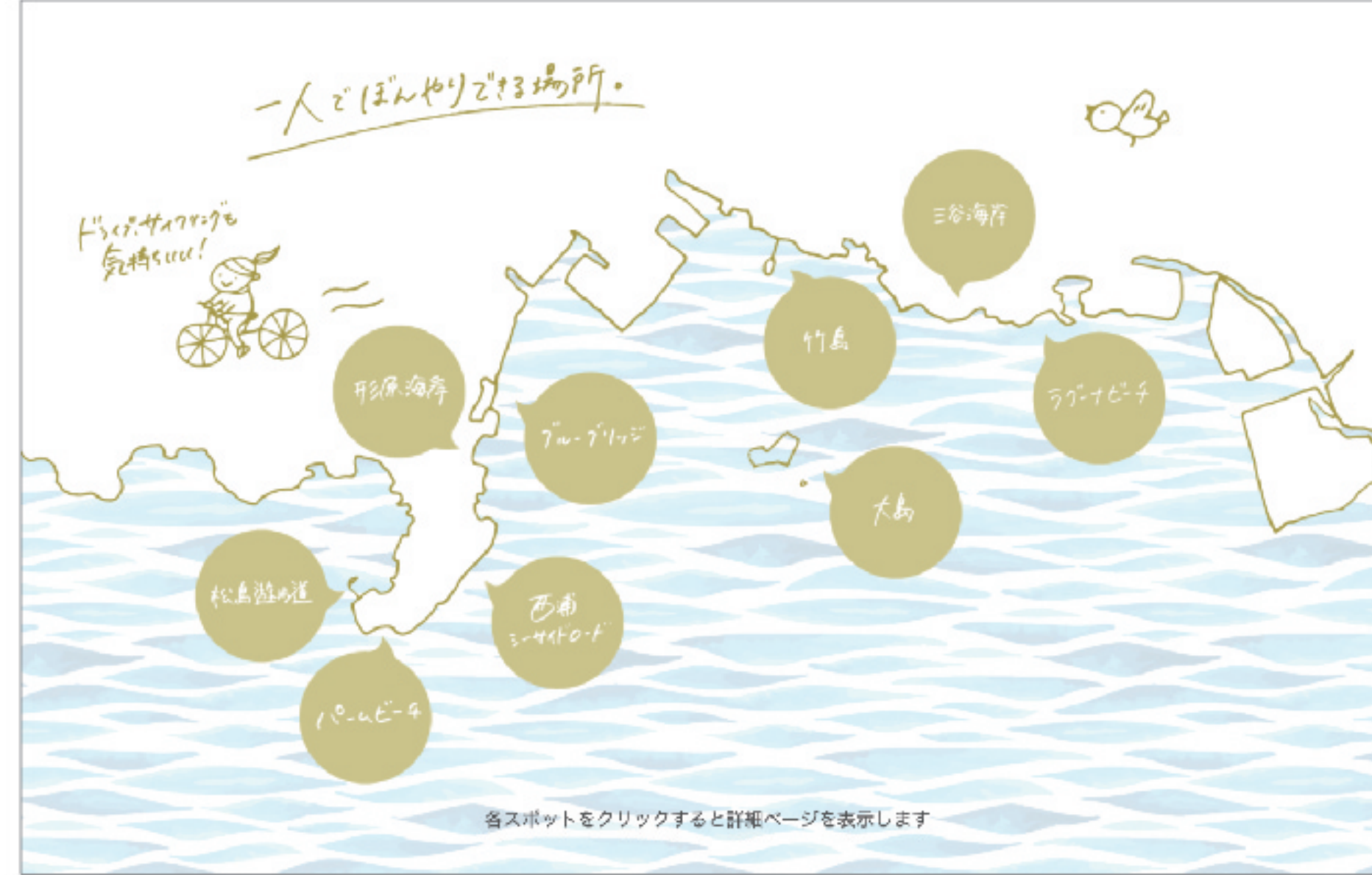
◀上 「今月の竹島」
蒲郡のシンボルといえば、なんとと言っても竹島です。毎月最新の竹島情報を発信することで、さまざまな表情を見せる竹島の魅力とともに「竹島＝蒲郡」のイメージをより強力に発信し、蒲郡へ来ていただく一つのきっかけとなることを目指しています。



◀中 「がまごおりってどんなところ？」
たくさんの方に溢れる蒲郡ですが、トップページではまず抑えたい基本の特徴を3つご紹介しています。それは、「海のみち」「温泉のみち」「魚が美味しいまち」の3つ。県内有数の観光地として、海沿いの美しい景色と癒しの温泉、新鮮な魚介類を中心とした美味しい食事は外せません。



◀下 「がまごおりの味を知る。」
自慢の魚介類の中でも、特に蒲郡の特徴と言えるのが深海魚。また、ご当地うどんの大会で3度優勝に輝いた、アサリ出汁の利いた「ガマゴリうどん」も是非食べていただきたい蒲郡の名物です。言わずと知れた「蒲郡みかん」も含め、蒲郡の美味しい食べ物や、それが食べられる市内の店舗を紹介しています。今後は、蒲郡市民のみなさまにも普段から便利にご利用いただける「お食事処検索サイト」として、登録店舗の拡充を図っていきたく考えています。



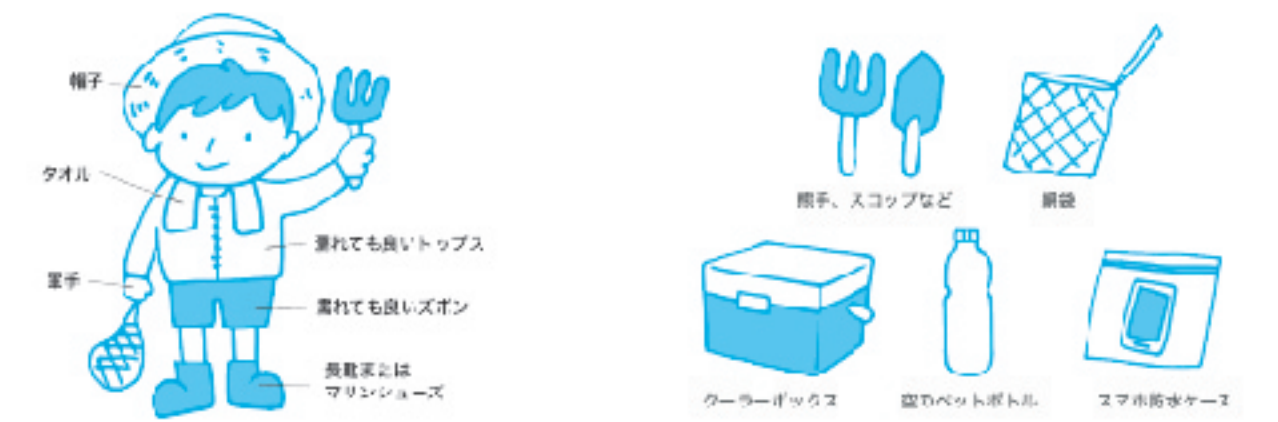
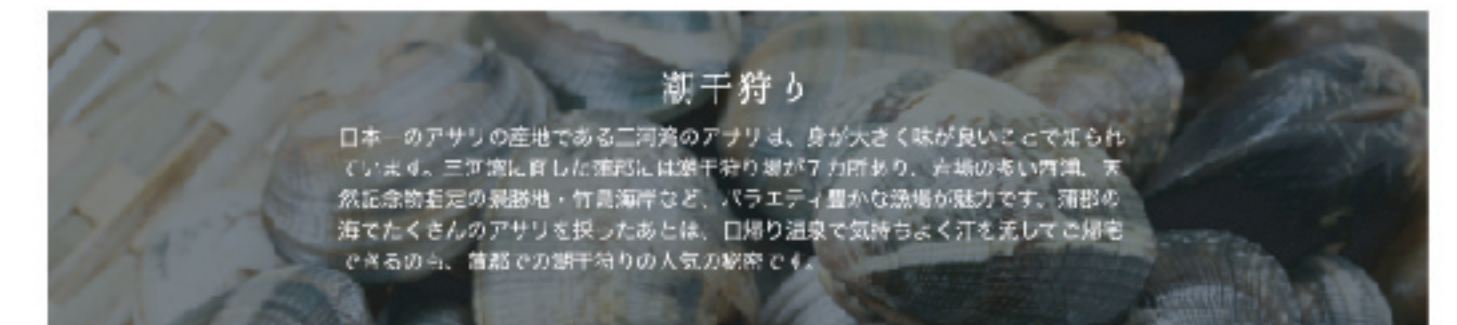
▲ 蒲郡の「ぼんやりスポット」の図解も掲載。一般的な「観光地」ではなく、一人てただぼんやりするのにちょうど良い海辺のスポットを紹介しています。



「空」のアクティビティ。
▼ パラグライダーも人気です。



▲ 穏やかな三河湾に面する蒲郡では、さまざまなマリンスポーツも盛ん。蒲郡の海と陸と空で楽しめるアクティビティをまとめたページも新設しました。



▲ 毎年多くの人で賑わう潮干狩り。蒲郡には、7カ所の潮干狩り場があることをご存知でしょうか？各潮干狩り場の情報と、持ち物や注意事項をまとめた潮干狩り専門ページも追加しました。潮見表などの詳細は、毎年時期が近づく不断更新される予定です。



▲ お気に入り登録機能を追加。行先の検討に便利です。

ミデコラム

今月のにわか編集長
足立直子

にわか編集長とは!?

ishin-denshinの編集長は持ち回り制。特集ページの執筆や、みんなのコラムにコメントをつけたり小コーナーの原稿をまとめるのが主な仕事です。



ミデコ社員ひとりひとりが、それぞれの個性を活かしたコラムを掲載!



第104回

自宅 Bar づくり & 美味しいもの探求

昨今の外出自粛の流れから家での豊かな過ごし方を探求。今回引越しに至ったのは家にいる時間が増加したのも理由の一つかも。どうせ家で過ごすならより快適に過ごしたい…そんな動機もあったかもしれません。新居にはバーカウンターのようなテーブルが備え付けられているので、せっかくだから自宅をBar風にしようかと思ひ、いろいろやってみました。

まずはカウンターチェアをチョイス。無骨で男らしさ漂うBarにしたいので、鉄と木を使ったものが良いかと思ひ、ニトリ、カインズ、カーマをぶらつくもピンと来るものはなく、致し方なくネットを徘徊。やっとのことでドンビシャイメージのものを見つけました。クーポンフル活用でさっさと購入、すぐに到着。梱包の箱がでかい! 開封するとイメージより1.3倍ほどでかい! ミスったかも…。座ってみると高い(座高が)! 硬い! 痛い! といきなり不



満の嵐が…。しかし、ものの10分ほどで全て了し、気がつけば慣れておりました。まあこういったタイプの椅子に座り慣れていないのが理由でしょう。慣れたところで、パー気分でお酒を飲んでみます。白く明るい照明では無粋だから、暖色系のキッチン灯のみをつけます。するといい感じ。ついでにBluetoothスピーカーから洒落たジャズ系音楽を流す。もう自画自賛のおしゃれバー空間の出来上がり。週末の一人飲みが優雅なものになった気がします。しかし、欲には際限がないもので、カクテルシェイカーやアロマディフューザー、光るコースター、カフェ風のシーリングライトなど欲しいものがゾクゾク出てくる。不要不急の買い物なので当分は買いませんが、欲しいもののリストにメモしておきます。自宅より快適に充実した時間を過ごせるってすごく大事。このご時世に出づらいからこそ家で過ごす方を極めてみたいと思います。

タイトル二つ目の美味しいもの探求とは、なんとなく初めてみた「オイシックス」のこと。初回半額お試しキャンペーンだけで終わりにしようと思ひきやメール、電話、DM…ありとあらゆる鬼営業に推され会員になってしまいました(営業担当が男なら断ってたぜ)。でも、後悔はない。今では、継続して良かったと心から思っています(歴2ヶ月と少々)。オイシックスは20分以内に2食作れる料理キットで、誰でも簡単に美味しくつくることができます。食材もオーガニック素材をふんだんに使用し、健康面にもかなり配慮されています。ほんと、自分で作ったとは思えない外食並みの味を自宅再現できます。月2回ほど定期便を注文してしまひて、1万ちょっとぐらいでしょうか。健康面(精神的にも)にかなり良い影響があると思ひますね。ほん



と美味しいので、騙されたと思って注文してみてください。が、もれなくハードな営業攻勢がきますが、それ以上に本当に美味しいのでおすすめです! 言い忘れましたが、献立はオイシックス側が提案してくれるので、未経験の料理にチャレンジできますよ。

順番前後しますが、最近発見したことがあります。「ハートランドビール」めっちゃうまいっす。引越してからベシアが徒歩2分なのでよく行くのですが、そこでハートランドビールを扱っておりましたね。試しに買って飲んでみたら、すっきり、あっさり、癖のない爽やかな味が逆に癖になりました。おしゃれな瓶のデザインに爽やかテイストのビール、もう最高でございます。早く週末来ないかな〜!! 風呂、酒、音楽三昧の週末引きこもり生活を満喫している山本でございます。

にわか編集長コメント

昨年家具の売り上げが伸びている

きおく画伯

第55回

お題 **ウッディ**

描いた人 **前田さん**

いつものとぼけた表情が一変、眼光鋭いウッディの登場です。こっちのウッディも頼りになりそう! オレがつい〜てるぜえ〜!

そうですが、お部屋の模様替えをされた方がたくさんいるのですね。部屋を快適にすることは生活の変化に繋がり、日々の生活の変化は人生を左右することにもなるので、小さなことにも目を向けて暮らしていければいいと思います。



第103回

新シーズンが始まるよ

長男、無事成人式を迎えました! ありがとうございます!

いや〜あの甘えん坊将軍が、高校から家を出て現在(単身・名古屋)に至るなんて…移動手段がもっぱら抱っこだったあの男が…いやいや感慨深い。それに比べ、「抱っこしようか?」と聞いても「いえ、ご心配ただかずとも私は結構です」と言わんばかりにガン無視&拒否して電池が切れるまで走り回った次男はどうなるのか…おそろ…いやいや楽しみですわ。

さてさて、自粛ムード真っ只中とはいえ次男のチームは可能な限りトレーニングを



▲このあと現行犯逮捕(薬容器ぶちまけ罪)され大泣きする色白長男(左)と、貫禄としかいえない次男(右)の背中。

続行。ただし、関係者に(家族も含む)一人でも罹患者が出れば全カテゴリー活動中止…こ、こわい。そして荷が重すぎる。誰も口には出さないが、「せめて最初が自分ではありませぬように」と思っているはず…いや、いいんだけど。ごもつともな話です。

そして成人・長男の方も、じわじわと始動中のように…朝イチからのミーティングがあると…土曜日。突然「やばい」と一言ライン届く。何をやらしたのか、と一瞬のうちにニュース画まで想像してたら「もう今年からルールが軍隊」と続投。

昨年末、体温管理が雑すぎると監督の逆鱗に触れてからの各々個人面談があり、「チームに決まり事が無すぎる」ことを指摘された長男ら。もともと、高校サッカーのストイックさを要求されてた新監督だったので、政権交代が成った今、ある意味本格始動というタイミング。

少し前に「部費が上がる」とボヤいていた長男。(※もちろん部費を自腹切ってるわけではない。親がお支払い)今回のミーティングで、

- ・GPS測定器の採用
- ・SNSの制限
- ・茶髪パーマ禁止
- ・強豪と積極的に練習試合

あとは、蒲郡市内の海陽グラウンドや、次男のホームグラウンド赤塚山グラウンドにも来るそうで、おそらく顔面がスミ1色になってるであろう長男とは裏腹に春からどう変化するのか楽しみしかない私。

早速次男に報告すると、GPS測定器採用に反応。

「うわー…サボれんじゃん…」と心底兄に同情してる模様。…そこ? って

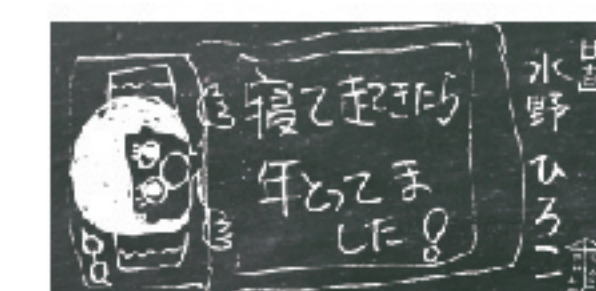
どうかサボッてんの??

ちなみに成人式に合わせてピンクにした髪を、名古屋に帰宅後速攻クロにもどした長男。憎めん阿呆だ。

にわか編集長コメント

ご長男さん、ご成人おめでとうございませす!!

コロナ禍での大変な成人式となっただろうと想像しますが、髪の色がピンクで楽しめたようで何よりです。それにしても大学生で茶髪パーマ禁止とは厳しいですね。さすがスポーツの強豪。厳しいルールの中でも得られるものは大きいと想像します。自分はぬるま湯で通り過ぎた青春時代…なんだか羨ましいです!



第103回

足の爪 切ってくれませんか?

年々、左股関節の稼働が悪くなり悲しいことに左の足の爪を切ることができなくなった。半年くらい前までは、切りづらいなあと思ひながら、新しいニッパー状の爪切りを購入したりして色々方法をかえ切りづらいに切っていた。

またネットで「足の爪を切る」などと検索して「誰か足の爪を切ってくれませんか」とつぶやきながらネットサーフィンもしたがヒットするのはネイルサロンばかり。結構普段から「誰かに足の爪を切っ

ほしい」と考えていたので、ある時には、ペットショップの犬の爪を切る案内にも反応してしまっていた。

そんな私に朗報が。先日受診した皮膚科で看護師さんに「爪が切れなくて困ってる」と相談したところ切ってくれるとの返事。その日はもう遅かったので別の日に切ってくれると。

「皮膚科で足の爪切ってくれるって！」と親しい人たちに報告。そして二日前に皮膚科に行ってきた。

「右は自分で切れるんですが左の爪がどうしても切れなくて」と看護師さんに報告、そして靴下を脱ぐ。看護師さん「あー、あんまり伸びてないねえ」、ニッパー状の爪切りでパチンパチン。私の中でこの爪の長さは、我慢できない長さなのに。看護師さんのパチンパチンと切る爪が少ない。「あんまり切ると巻き爪になっちゃうでね」と終了。

多分、正しい爪の切り方なんだろうけど不完全燃焼の爪切りでした。

自分でできないことってある程度受け入れるしかないだろうなあ。股関節の運動のために買って、今上着が掛かった状態になっている、エアロバイク。真面目に毎日こごうかな。

にわか編集長コメント

子供の頃は年を追うごとに出来ることが増え、なんの努力もなしにもともと出来たことがもっと上手に出来るようになるという今思えば夢のような時期でした。私が初めて衰えを感じたのは高校1年生。50m走が中3の自分より遅くなりました。当時はショックでしたが、いつの間にか昔の自分に敵わないことにすっかり慣れてしまいましたね。



第104回

三谷幸喜のすべらない話から学ぶこと

かつて古畑任三郎、王様のレストラン、ショムニなどのテレビドラマ、舞台上で活躍していた伊藤俊人さんがくも膜下出血のため40歳という若さで亡くなってから早いものでもう20年近く経とうとしている。葬儀委員長を務めた日藝の同期で同じ劇団で活動していた脚本家の三谷幸喜は弔辞で「人は二度死を迎えるといえます。一度目は肉体が死んだ時。二度目は誰もその人のことを語らなくなった時。だから君に二度目の死が訪れることはありません。僕たちはいつまでも君のことを語り続けます」と述べたという。その言葉の通り、伊藤さんを思い出させてくれた番組こそ「人志松本のすべらない話」第36弾で三谷幸喜が披露した話だ。伊藤さんと言えば普段は明るく、面白く、喋りもうまく、亡くなるような感じの人ではなかったと劇団員の誰もが思っていたそうで、そんな彼が突然倒れたと聞いた時は相当な驚きだったとか。劇団員全員が病院へ集まり、胸が張り裂けそうな思いで伊藤さんを見守るも最期の時を迎える。突如、外は土砂降りの大雨となったことが今でも印象に残っているという三谷。そんな中、劇団員の一人、甲本雅裕が「伊藤さん！なんで亡くなったんじゃ！」とすがりついた。甲本といえばザ・ブルーハーツ甲本ヒロトの実弟。岡山県出身で今や踊る大捜査線や遺留捜査でも大活躍中のトップバイプレイヤーの一人だ。そして続け様「順番が逆

じゃろうがぁ！」と何度も叫び続ける甲本。つらい思いで聞いていた面々だが、三谷はふとこう思った。「順番が逆だろうが」というのは家族が言うべきことであって、あまり部外者が言わない言葉ではないのかと。父親が亡くなった息子に「順番が逆だろうが」と言うのはわかる。この場合、家族ではない甲本がこう叫ぶのは、お父さんとお母さんに対してすごく失礼なことを言っているのではないのか。確かにその通りだ。「変わったこと言うな…」と三谷はじめ、他の劇団員もそう思っていた。すぐそばで、甲本は変わらず「順番が逆じゃろうが…」とつぶやいていたという。いや、待てよ。三谷は「彼は一体、何の順番を言っているのか」と思い直す。考えられるのは一つ。今いる劇団員の中の順番を言っているのではないのかと。となると最年長は誰かとなった時に浮かび上がったのが小林隆。最年長といえど3歳ほどしか違わないほぼ同世代の小林はやがて大河ドラマをはじめ、数々の映画や舞台でも活躍することになる。「小林隆か…」と違って小林の方を見ると他の劇団メンバーも同じタイミングで同じことを考えたのか皆、小林を見ている。小林も何かを感じたらしく天井を見上げてこうつぶやいた。「俺かぁ…」。伊藤さんが亡くなって2～3分しか経っていないこの絶対に笑ってはいけないうる緊迫した状況で、歯をくいしばり込み上げるおかしさを我慢する三谷。悲しいことを考えるんだと思って子供の頃にいなくなった犬のことを思い出して頑張る三谷。一方で伊藤さんが亡くなっているのに犬のことを思い出している自分がこれまたおかしと思う三谷。本当に泣き笑いとはこういうことなんだと、いや9割方笑っていたという三谷と劇団員達。伊藤君も明るい男だったからこういう見送り方もあるのではないかと締め

くられたこの話。お医者さんもまだいるこの状況で果たしてどこまで本当かいささか疑問ではあるが、すべらない話という大前提があり、前置きから話を伝える構成、話し方まで視聴者に伝えた上で笑わせる必要性。三谷の話は一種独特で芸人とは違う発想、解釈を盛り込んでオチの想定を超えていた。皆を共感させつつ独自の視点で笑い誘う脚本家三谷幸喜、その状況が絵として映像として浮かんでくるあたりはまさに恐るべしといったところか。亡くなった伊藤さんを取り上げることに不謹慎だと嫌悪感を持つ視聴者もいるだろうが、この話を聞いて伊藤さんのことを思い出したのは事実。20年近く経ってもこうして話題にしてくれる仲間がいるというのはある意味うらやましい。「君のことを語り続ける」と弔辞で言った三谷の言葉に偽りは無く、改めてその凄さを感じた。

にわか編集長コメント

番組は見えていませんでしたが、このコラムを読んだだけで笑いました。面白すぎです。私も友人とすべらない話大会をしたことがあります。内輪で話した時にウケた話も、その他の人には全くウケなかつたりで、あの番組の凄さを思い知りました。それにしても、亡くなった後に笑い話でみんなに思い出してもらえというのは素敵ですね。



今回は前を通るたびに気になっていた「とりの食堂」さんへ突撃！大きな「めし」の看板が印象的ですが、初心者には少々入りにくい感が…しかしざざ入れば昔ながらの定食屋さんそのもの。丼物から定食、うどんにカレーライスなどこれぞまさにおふく

ろの味オンパレード。メニュー選びも一苦労です。私、大河内は最安値のどん汁定食をチョイス。大きめの丼に入った豚汁は具沢山。さらに嬉しいのは生卵付き。豚汁に卵かけご飯はやっぱり最強の組み合わせの一つですね。あとはサラダに漬け物、魚フライが付いて 600 円！これは安い！おそらくゴルフ好きであろうおばちゃん一人が切り盛りしているので少々調理に時間はかかりそうですが、何を頼んでも美味しくいただけそうな気にさせてくれるお店でした。

一に日は道

水野 順也

第103回

世の中は不要不急で成り立っている

不要不急とは“どうしても必要というわけでもなく、急いでする必要もないこと”とあるが果たしてどうであろう？コロナ禍では感染防止のため、なるべく人と接触せず、家にいてくださいという意味で、要は意味のない行動を控えれば、人との接触も少なくなるということか。確かにその通りである。

おおかたの人間は不要不急が大好きなのだ。突然訪問してくる営業マンは不要不急の塊でしかない。自分の時間稼ぎに、いるかわからない、しかも買っていただけるかわからない社長を訪問するのだ。電話営業でも同じである。仕事の現場ではストレスなくできる仕事から手を付け、難しい課題は後回しにする。それで終業すれば居酒屋に直行である。暇な社長は屋間から仕事と称して人と雑談。夜はお付き合いと称して居酒屋へ。そうやって不急不要の時間を過ごしているのだ。笑。これはこれで、ある意味いいのかもしれない。そうやって世の中は時間を浪費しているのだ。

ここからが本題。不要不急の“不”を取ったら要と急となる。それは“必要かつ緊急”となる。これこそ大問題だと思う。これこそ緊急事態宣言だ。人はこの状態になると全てをほったらかしにして緊急事態に臨む

のである。言い方を変えれば、この状態にならないと行動しないのだ。一番のストレスとなるのがわかっているのに。仕事でもプライベートの場でも同じことが起きるのは身に覚えがあると思う。

だからこそ、不要不急の時間を大切にしたいと思う。それは準備のための時間なのだ。コロナ禍の緊急事態宣言はもしかしたら(政治家や国民の)準備が足りなかったかもしれない。

にわか編集長コメント

「要」であるとは分かっていても、「急」もつかない重い腰は上がりづらいものです。あーあれやらなきゃ、これやらなきゃ…と思ってはいても、面倒でいつも後回し。結局ギリギリになって手をつけるわけですが、もっと早くやっておけば…と毎回後悔するのに改善できないところが問題です…(反省)



これからは一人でもふらっと行って、いろいろなメニューをぜひ味わってみたいなと思っています。ごちそうさまでした～。

(文：大河内)
※看板には「中華そば」とありますが、残念ながら今はやっていないそうです(泣)



今月のお題

出勤前、理想の朝の過ごし方



フタ
ー人
時間



夕食の下ごしらえ



コーヒーを飲む際、新聞を読む



散歩



家事ルーティンのあとの玄関まわし



楽器演奏 (20分)

おだちペン のんカフェ日記

2021.1.21 Thu.

File.55

うちカフェ母vs.妹

緊急事態宣言を受け、一応外出自粛ということですが、
実家の母親に「ちゃんかチーズケーキか
作って」と言ったら出てきたのが
このチーズタルト。ちゃんと偶然
離れて暮らすお母さんからレパチーズケーキの
差し入れが入ったため、困らずも
チーズケーキ対決が実現しました。



どちらも美味しくいただきました😊!



チーズタルト
made by 母



レパチーズケーキ
made by 妹



にわか編集長 コメント

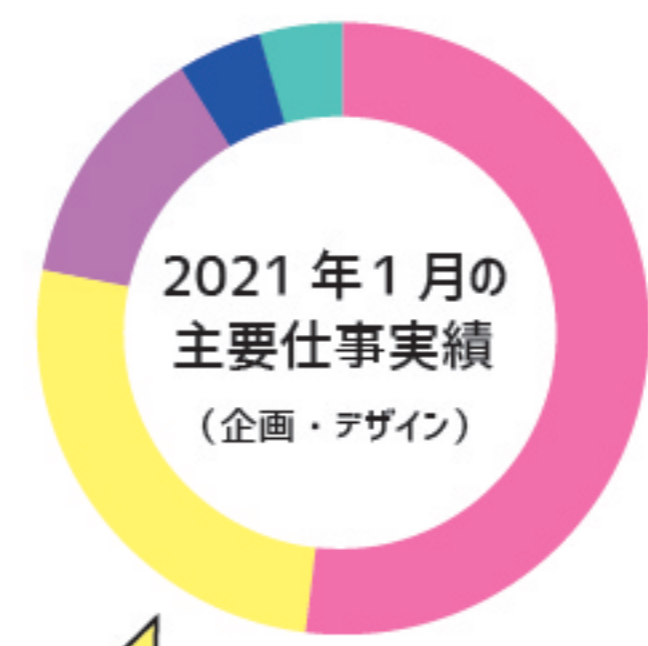
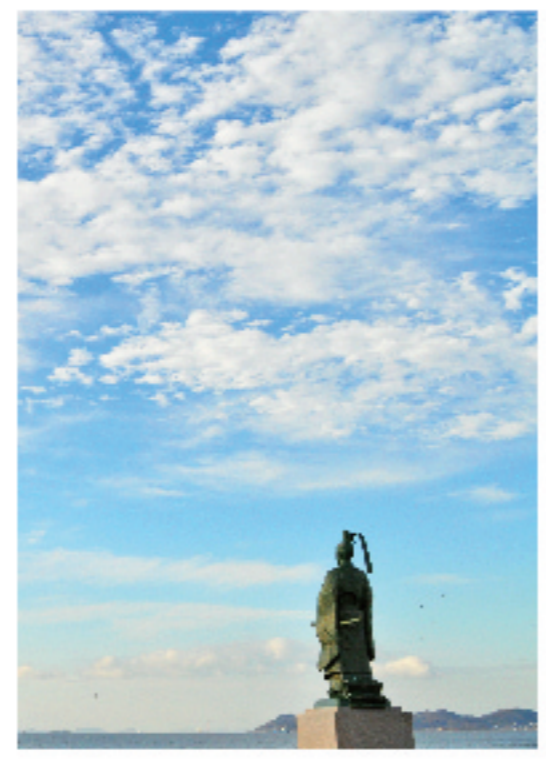
緊急事態宣言、今のところ2月7日までとのことですが、どうなるでしょうか。いずれにしても、1日も早い終息を願うばかりです。

今月の 八百万百景

万葉歌人が見つめる先には…

撮影者：山本兼佑

雅を極めた藤原俊成卿。彼が三河地域を開いた頃のどのような感じだったのでしょうか。町の風情は様変わりしても、竹島と青く美しい空はあまり変わってないのでしょうか。ちなみに俊成さん、91歳まで生きられたそうで、当時としても、現代の平均から見てもかなりのご長寿様だったんですね。



WEBデザイン・ECサイト
お任せください!

今月の

にわか編集長

編集後記も持ち回り制!

先日、急に思い立って自転車で碧南まで行ってきました。頑張るのは面倒なので、少しでも登り坂になると自転車から降りて歩いていたのですが、41号線は意外と蒲郡側が低いということが判明。歩く距離が異常に長く、往路に3時間もかかってしまいました。逆に復路は2時間。良い運動になりました。

足立 直子